

第6部

経済・産業

第1章 経済成長率・県内総生産

- 82 経済成長率
- 83 県内総生産(名目・実質)
- 84 1人当たり県(国)民所得
- 85 1人当たり県(国)民所得の構成割合
- 86 県民雇用者報酬と県内・県外比率

第2章 事業所・従業者数

- 87 産業別事業所数
- 88 産業別従業者数
- 89 工場・研究所の立地件数
- 90 事業所数と従業者数
- 92 産業別(1次・2次・3次)就業者数

第3章 労働

- 94 男女・年齢別就業率
- 95 高等学校卒業者の県内就職率
- 96 県外就業率
- 98 就業地別有効求人倍率
- 99 外国人労働者数、外国人を雇用する事業所数
- 100 労働時間(事業所規模5人以上)
- 101 賃金(事業所規模5人以上)
- 102 パートタイム労働者比率(事業所規模5人以上)

第4章 工業

- 103 製造業の従業者規模別事業所数、従業者数、製造品出荷額等(全事業所)(従業者4人以上)
- 104 製造業の事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移
- 106 製造業の産業中分類別事業所数、従業者数(全事業所)

- 107 産業中分類別製造品出荷額等(全事業所)
- 108 1事業所当たり製造品出荷額等(全事業所)
- 109 従業者1人当たり製造品出荷額等(全事業所)
- 110 品目別製造品出荷額等の全国シェア(全事業所)
- 111 従業者1人当たり付加価値額(全事業所)

第5章 商業

- 112 商業(卸・小売業別)事業所数、従業者数、年間商品販売額の割合
- 114 県民1人当たりの年間商品販売額(小売業)
- 115 事業所数、従業者数、年間商品販売額(小売業)
- 116 産業小分類別の年間商品販売額
- 118 事業所数、従業者数、年間商品販売額(卸売業)

第6章 観光

- 119 観光客数
- 120 観光消費額
- 121 年間宿泊者数
- 122 月別宿泊者数
- 123 外国人訪問客数
- 124 外国人宿泊者数
- 125 旅館・ホテル客室数
- 126 国際会議開催件数

第7章 農業・水産・畜産業

- 127 農家数
- 128 認定農業者数
- 129 耕地面積
- 130 荒廃農地面積
- 131 農業産出額
- 132 主要家畜飼育頭羽数
- 133 協定直売所「地の味 土の香」
- 134 県内養殖生産額と総漁獲量

第8章 林業

- 135 森林面積及び森林蓄積
- 136 市町村別森林面積
- 137 主要部門別素材生産量
- 138 間伐面積



観光客数

2023(R5)年観光客数…3,991万人



2023(R5)年の奈良県への観光客数は3,991万人で、前年と比べて725万人(22.2%)の増加となりました。

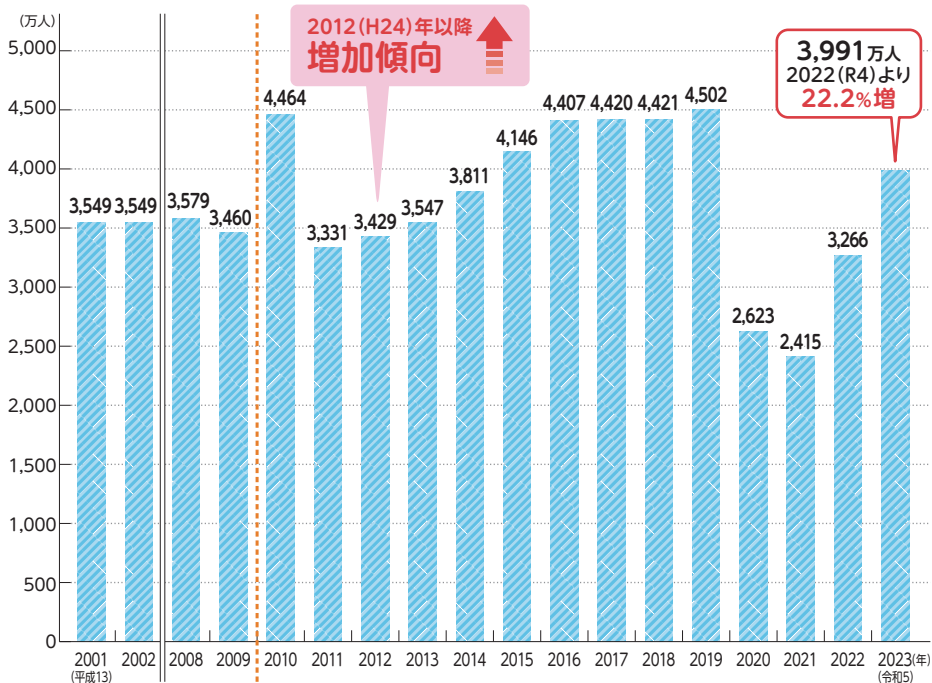
奈良県を訪れる観光客数は、2001(H13)年から2009(H21)年までは、概ね3,400万人～3,600万人で推移しましたが、2010(H22)年は「平城遷都1300年祭」の開催により、観光客数が4,400万人を超えました。2011(H23)年は東日本大震災や紀伊半島大水害の影響などから減少していましたが、2012(H24)年以降は外国人訪問客等が増加傾向にありました。2020(R2)年・2021(R3)年は新型コロナウイルス感染症の影響を受け大きく落ち込みましたが、2022(R4)年3月にまん延防止等重点措置が全面解除され、同年10月に水際措置が大幅に緩和されたことなどから増加傾向にありました。

2023(R5)年は、「いまなら。キャンペーン」の効果や、外国人観光客の観光需要が高まってきたことから、2023(R5)年の観光客数は前年に比べ増加しました。

※ 2010(H22)年4月より観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に準拠し、調査対象、推計方法を変更。

観光客数の推移

資料：県観光戦略課「奈良県観光客動態調査」





観光消費額

1人当たりの観光消費額…

(宿泊)26,695円 (日帰り)3,848円

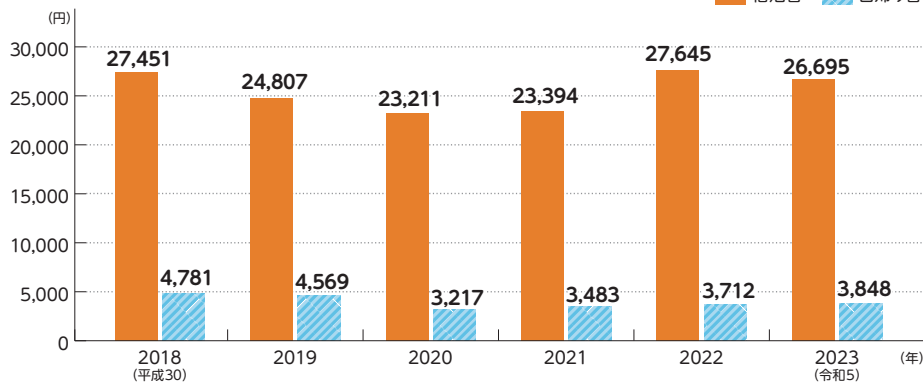


2023 (R5) 年の観光消費額の推計(観光庁の「共通基準による観光入込客統計調査」に基づく)は約1,578億円で、そのうち宿泊客が約679億円(43.0%)、日帰り客が約899億円(57.0%)となっています。1人当たりの観光消費額は、宿泊客は26,695円、日帰り客が3,848円となっています。

1人当たりの観光消費額の推移

資料：県観光戦略課「奈良県観光客動態調査」

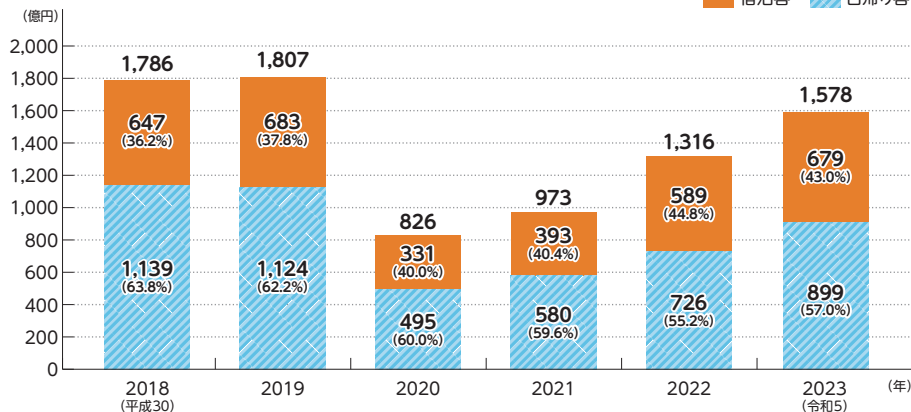
■ 宿泊客 ■ 日帰り客



観光消費額の推移

資料：県観光戦略課「奈良県観光客動態調査」

■ 宿泊客 ■ 日帰り客





年間宿泊者数

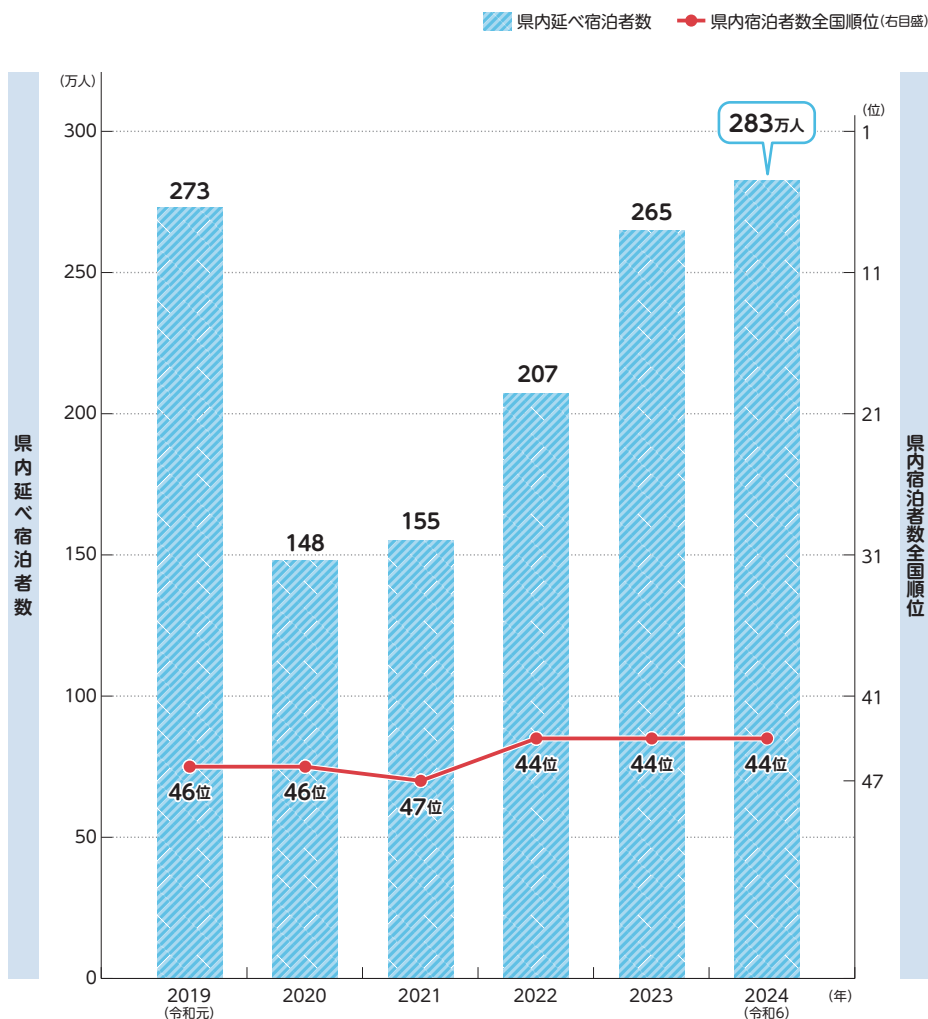
2024(R6)年延べ宿泊者数…283万人



2024(R6)年の奈良県延べ宿泊者数は283万人となり、前年から19万人(7.0%)の増加となりました。

宿泊者数の推移

資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」





月別宿泊者数

2024(R6)年は11月が最も多く29.2万人



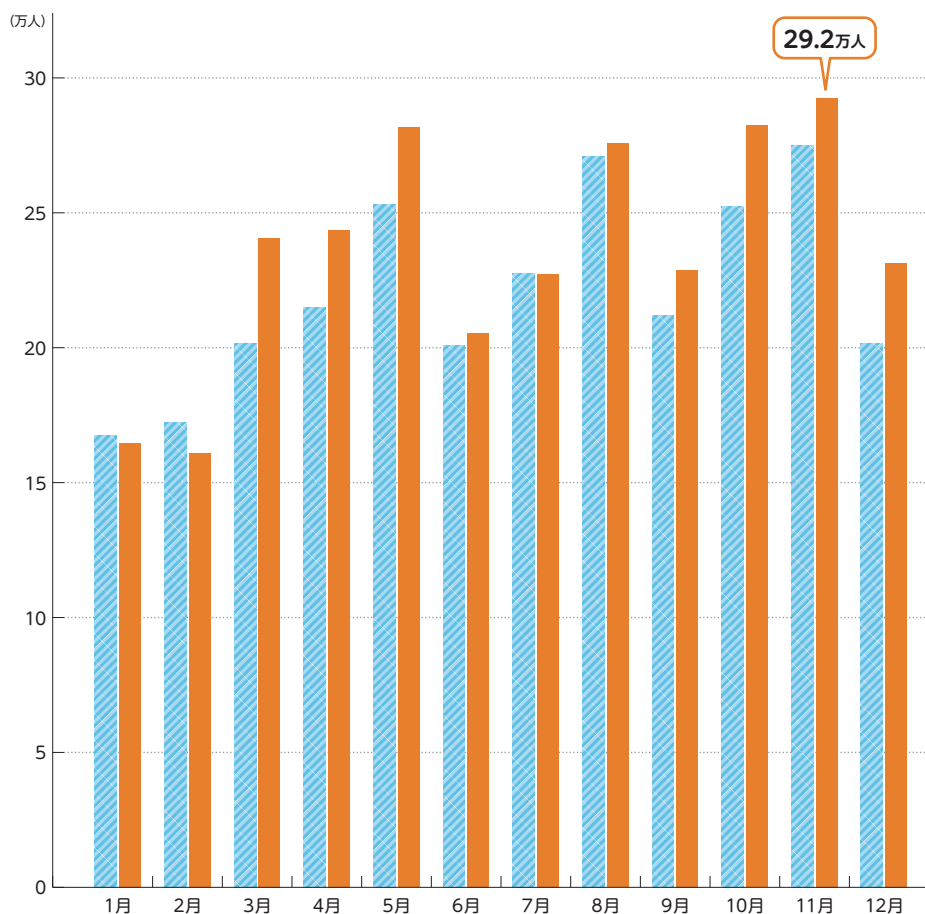
年間の宿泊者数を月別でみると、2023(R5)年、2024(R6)年も共に11月が最も多くなっています。

宿泊者数が多いのは、11月の29.2万人、10月の28.2万人、5月の28.1万人及び8月の27.6万人と続きます。少ないのは、2月の16.1万人、1月の16.5万人となっています。

月別宿泊者数推計

資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」

2023(令和5)年 2024(令和6)年





外国人訪問客数

2023(R5)年の外国人訪問客数…194万人



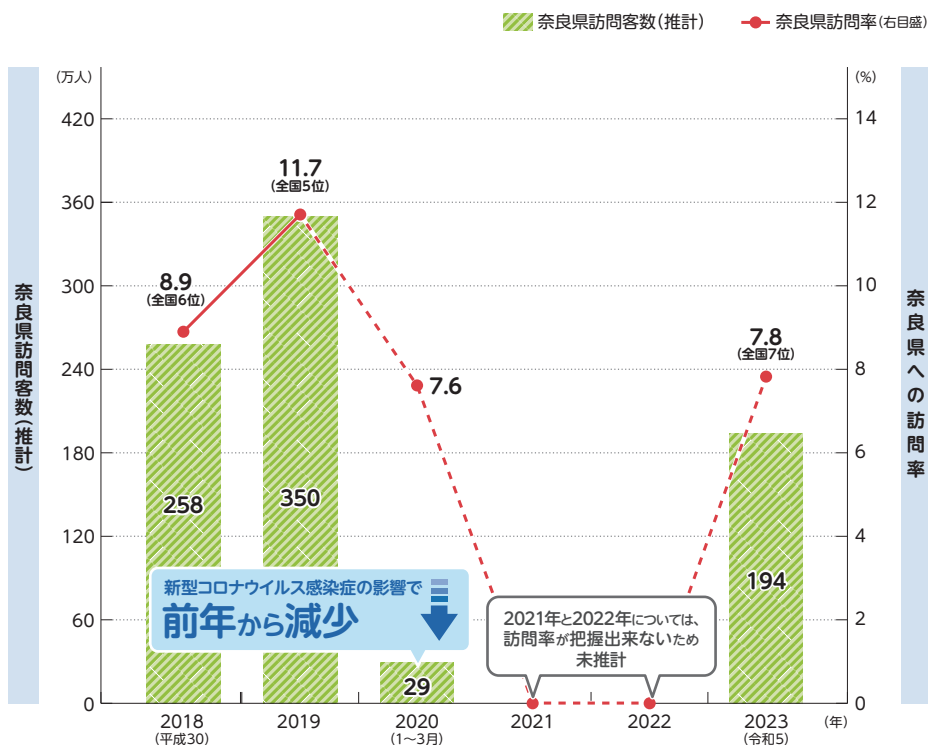
新型コロナウイルス感染症の影響から、奈良県を訪問した外国人客数は2019(R元)年より減少していましたが、2022(R4)年10月に水際措置が大幅に緩和されたことから回復傾向にあります。

2023(R5)年に日本を訪れた外国人客数は2,507万人でした。

- 奈良県訪問客数…「訪日外客数」×「訪問率」による推計。2018(H30)年より、観光庁「訪日外国人消費動向調査」が調査拡充され、一般客(クルーズ客以外)とクルーズ客(船舶観光上陸許可を得た者)に区別されました。ただし、クルーズ客の奈良県訪問率が把握できないため、2018(H30)年以降の奈良県訪問客数は、一般客の数値をもとに推計。(訪日外客数からクルーズ客の人数を除いた数×奈良県訪問率(一般客)により推計)
- 訪日外客数…日本政府観光局(JNTO)による「訪日外客数」。
- 訪問率…観光庁「訪日外国人消費動向調査」による訪問率。
- クルーズ客…法務省「出入国管理統計」による船舶観光上陸許可数。

外国人訪問客数の推移

資料：日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」、法務省「出入国管理統計」





外国人宿泊者数

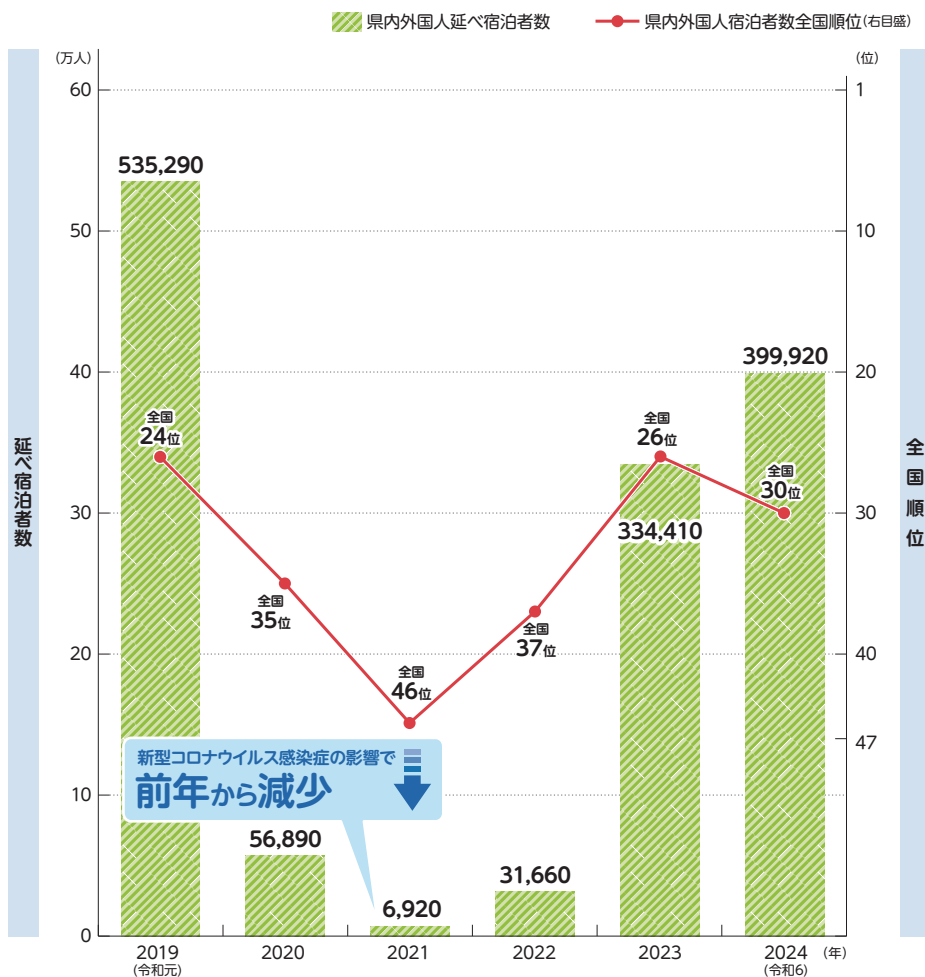
2024(R6)年外国人宿泊者数…399,920人



2024(R6)年に奈良県内で宿泊した外国人客数は、399,920人と推計されており、前年と比べて19.59%増加の全国30位(2023(R5)年:26位)となりました。

外国人宿泊者数の推移

資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」





旅館・ホテル客室数

2023(R5)年度旅館・ホテル客室数…10,433室

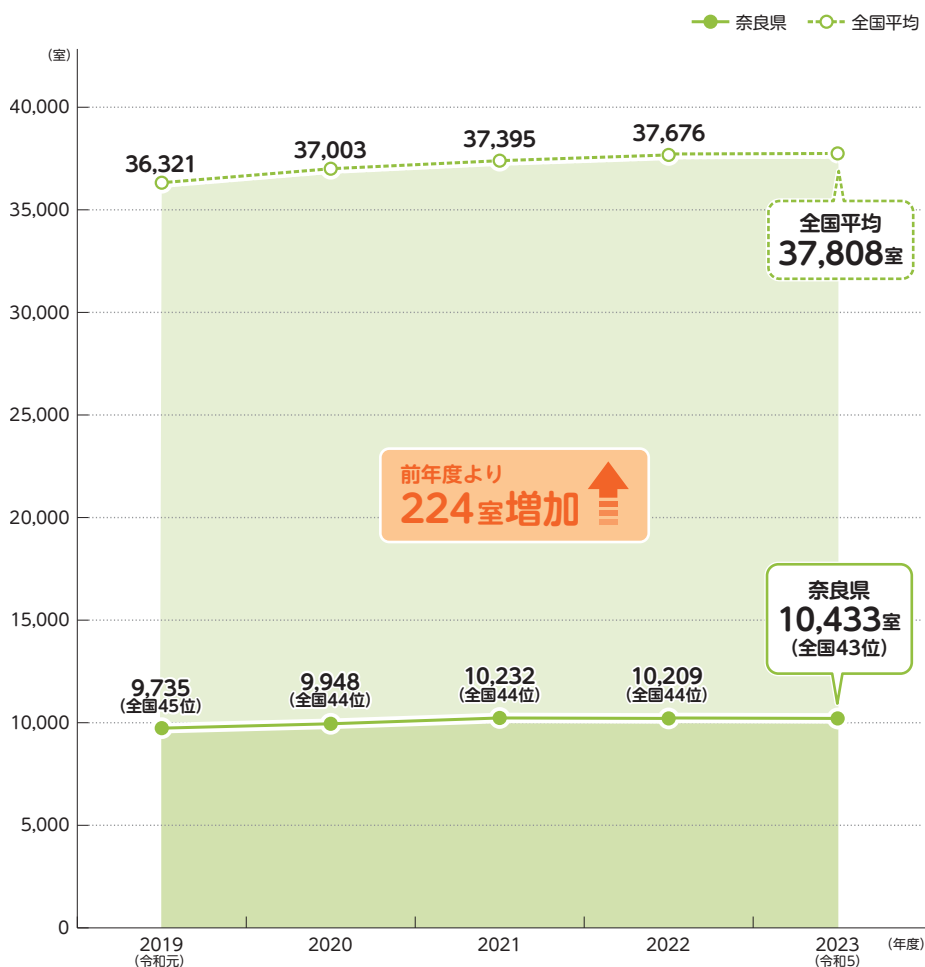


2023(R5)年度における奈良県の旅館・ホテル客室数は、10,433室で、全国43位となっています。

2023(R5)年度の旅館・ホテル客室数は、前年度と比較して224室増加しており、徐々に増加しつつあります。

旅館・ホテル客室数の推移

資料：厚生労働省「衛生行政報告例」





国際会議開催件数

2023(R5)年、奈良県内の国際会議開催件数は16件(全国14位)



2019(R1)年は35件、2020(R2)年は3件、2021(R3)年は0件と新型コロナウイルス感染症拡大により大幅に減少しましたが、2022(R4)年は9件、2023(R5)年は16件とコロナ禍からの着実な回復を見せています。全国の順位は過去3年間10～14位を推移しています。

2023(R5)年に奈良県内で開催された国際会議は16件(全国14位)となっています。

2020(R2)年から2021(R3)年にかけては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を強く受け、38都道府県(全体の81%)の開催実績が0件と大幅に減少しましたが、対面開催による国際会議が徐々に増加し、全国的にも回復傾向にあります。

全国順位は、過去3年間の状況を見ると、大幅な増減はなく、概ね横ばいで推移しています。

●国際会議の選定基準…以下の①～④を全て満たす国際会議を「国際会議」とする。

- ①主催者:「国際機関・国際団体(各国支部を含む)」又は「国家機関・国内団体」(各々の定義が明確ではないため、「公共色を帯びていない民間企業」以外は全て。)
- ②参加者総数:50名以上
- ③参加国数:日本を含む3居住国・地域以上
- ④開催期間:1日以上

国際会議の開催状況(開催件数)

資料: JNTO(日本政府観光局)「国際会議統計」

